

# 議 事 録

会 議 名	令和6年度 第3回 運営推進会議
報 告 者	令和6年 8 月 9 日 <span style="float: right;">若槻 美佳 印</span>
日 時	令和6年 8 月 9 日 13時30分 ～ 14時45分
場 所	庵 本部事務所
出 席 者	外部構成員 菅委員 藤原委員 欠席 <span style="float: right;">計 5 名</span> 庵 鹿田明浩 若槻美佳 <span style="float: right;">計 2 名</span>
	<p>＊鹿田社長＊            開会の挨拶。            飯南町もコロナが流行っている中、ブナの木でも感染者があった。2日間の短い間に9名の感染者があった。庵でも感染者はあったが感染が拡大することなく軽症で終わった。</p> <p style="text-align: center;">～議題に沿ってすすめる～</p> <p>若槻より            ○利用者状況について            ・登録者数、介護度別、サービス利用状況等について報告。            鹿田＞地域住民からの相談に対しても必要な支援（手続き等）を行い、目を向けていかなければならない中で、先日近所の高齢者世帯から庵にヘルプ要請があった。今後は、高齢者夫婦世帯又は独居の方の支援が必要になってきているように思う。登録に空きがあれば契約できるが、難しいところである。            大谷善委員＞声掛け訪問を現在おこなっている。その中で、介護サービス等の相談を受ける事もある。サービスが必要になれば庵に相談されるといい、と話をしているが…。            鹿田＞まだ元気で大丈夫、との気持ちを持ちながら生活されている高齢者は多く「サービス利用はまだ先」との思いが強いように感じる。急にサービスが必要になった際に困る事も多く、声掛け訪問時等で何か気づきがあれば、介護保険の申請を勧めてもらっても良いと思う。            伊藤委員＞地域から物忘れの症状がある方について相談があった。受診し医師から地域連携室に繋がったケースがある。高齢夫婦世帯の配偶者に何かあった際、残された方に認知があったりするケースが増えているように感じた元気で生活されていると思っていたら、物忘れや認知面の低下が顕著にありたりと、見逃していることが多いように感じた。</p> <p>○行事活動報告について 鹿田より            ・ホームページにて報告する。（運営推進会議議事録、夏祭り、七夕、ナイトウォークラリー、地域交流等）</p>

○今後の行事予定

- ・手持ち花火、敬老会等8月以降の行事について報告する。
- ・ドライブ、屋外喫茶、誕生会は随時実施中。

○会議、研修について報告する。

- ・定例会議開催
- ・8/26 飯南町福祉協議会の開催を協議中（コロナ感染拡大に伴い）
- ・実習生指導研修、看取り研修会

大谷善委員>看取りについては、病院と庵でどのような違いがあるか。  
 鹿田>事業所として3つのパターンがある。本人や家族の気持ちを確認し、最期を迎える場所も、病院か庵か自宅になる。延命治療や積極的な治療もなくなってくる。

宍戸委員>最期は延命治療をしない方が多い。  
 鹿田>治療が無くなれば自然に最期を迎えられるようになる。庵としては、ケアマネを中心に最期をどこで、どのように過ごしたいかの聞き取りを少しずつ行っている。

宍戸委員>早い段階から、人生会議を開いて本人の気持ちを尊重し、自分の気持ちを言えるうちから考えていくことを飯南町でも推奨している。

※「人生会議」とは、もしもの時の為に自分の望む医療や介護について、前もって考え、信頼する周囲の人達と話し合い、共有する取り組みのこと。

○その他

- ・新型コロナウイルス感染症に関する報告

○処遇改善加算算定に伴う届け出の不備について説明

- ・申請等に関する書類に複数のチェック・確認を行うことを強化し改善していく。

○人事異動について

- ・所長・管理者の変更について説明

【委員からの質問と回答】

全体を通しての質問や意見等はなし。

次回開催については、日程の調整次第お知らせすることを伝え閉会する。

【 決 済 】

所 長	次 長	計 担	合 議